

平成25年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下の資料をふまえた上で、人間と動物と文化の関係について、あなたの考えを 1000 字以上、1200 字以内で論じなさい。

資料

非公開

非公開

(伊藤亜人, 『文化人類学で読む 日本の民俗社会』, 有斐閣, 2007年, 110～112 ページ,
抜粋・一部改変)

平成25年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

出題の意図

資料は、日本社会における動物飼養の風習を例に、動物愛護の思想とも対比しながら、日本人の動物に対する関心のあり方について論じている。資料からは、人間と動物が対等な位置で連続的にとらえられているという点が日本文化の特徴であるという筆者の主張が読みとれる。

近年、「動物愛護」や「環境保護」等の問題はグローバル・イシューとして取りあげられている。しかしながら実際には、愛護の対象となる動物とそうでない動物との境界はどこなのか、何をもちて愛護とするのか、環境とは何を指すのかという理解は文化ごとに異なっており、その差異を理解した上でなければ有効な解決策もあり得ない。

本問題は、人間科学科のアドミッションポリシーに基づき、「人間と動物と文化の関係」について、複眼的思考力や論理的考察力をみようとすることである。